

荒小学校だより

教育目標 学ぶ子 高まる子 きたえる子



柏崎市立荒浜小学校

柏崎市荒浜1丁目2番11号

TEL 0257 (23) 6611

FAX 0257 (23) 6982

←ときどき更新中…

2024.9.5 No.501

学力から資質・能力へ

校長 笠原道宏

文部科学省は、毎年4月に小6と中3を対象とし「全国学力学習状況調査」を実施しています。調査結果は7月に各学校へ報告され、指導の改善へとつなげられます。この調査結果が戻ってくると、「全国平均より良かった」「県平均より1ポイント下がった」などと、各学校や自治体では、その数値に対して一喜一憂する姿がいまだに毎年のように見られます。

以前、県教育行政の中で、主に学習指導に関わる仕事をさせていただきました。そのころ文部科学省は学習指導要領を改訂し、教育の方向を大きく転換させました。大きな転換の最たるものは、「学力」を「**資質・能力**」にとらえたことです。【知識・理解】【思考力・判断力・表現力】については今までと変わらないのですが、新たに【**学びに向かう力・人間性**】という項目が三本柱の一つとして設定されました。もう5年以上前のことです。

学びに向かう力・人間性とは、学んだことを人生や社会に生かそうとする力であり、自己の感情を統制したり人間関係を調整する力、多様性を尊重する態度、リーダーシップやチームワーク、やさしさや思いやりなど幅広い要素が含まれます。

なぜ、学力観のとらえを転換する必要があったかと言えば、繰り返し行われてきた国際教育調査（TIMSS, PISA など）から、日本の子どもたちは諸外国と比較し、【知識・理解】【思考力・判断力・表現力】については高い数値を示していますが、学びを楽しいものと思っていない、使おうとしていない、役立つものにとらえていない傾向が顕著であり、国際的にも下位層であったことが一要因であると考えられます。できるけれど生活で使わない、学ぶことを面白いと思っていない子どもがすごく多いということです。

全国学力学習状況調査で、国語や算数の結果として示されるのは【知識・理解】【思考力・判断力・表現力】の部分であり、この数値の上下だけで子どもの力を語るのはとても危険です。荒浜小学校では、従来の学力観で大事にされてきた部分も向上させながら、**学びに向かう力・人間性**を含む資質・能力をその子の人間力にとらえ、人としてバランスよく高まっていくことを、大事にしていきたいです。

部分的な数値の小さな変化に一喜一憂するのではなく、楽しい授業を展開しながら、学ぶことの楽しさを実感させ、子どもと一緒に小さな出来事を喜び合える教師集団でいたいと考えています。今後も地域、保護者の皆様からご示唆いただきますようお願い申し上げます。